

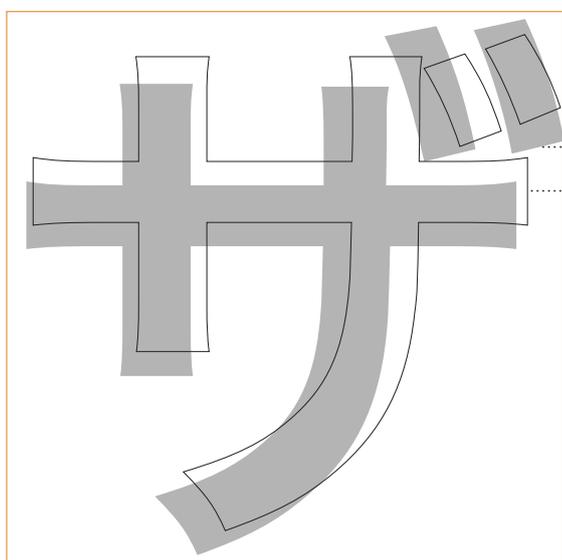
ヒラギノ角ゴパッケージ用仮名

「ヒラギノ角ゴパッケージ用仮名」は、パッケージの注意書き・地図など、小サイズの文字を使用する場合に濁点・半濁点を判読しやすいように大きくして、可読性を高めた仮名書体ファミリーです。「ヒラギノ角ゴシック体」の漢字と組み合わせで使用できるようにデザインされています。太さはW2と6の五ウェイトがあり、見出し・本文など、小サイズであっても、組版の濃度を様々に幅広くご使用いただけます。

一九九六年、OCFフォーマットで、「ヒラギノ角ゴシック体グラフィア用仮名」として発売しましたが、一九九九年、CID化を機に「ヒラギノ角ゴパッケージ用仮名」と名称を新たにリリースいたしました。

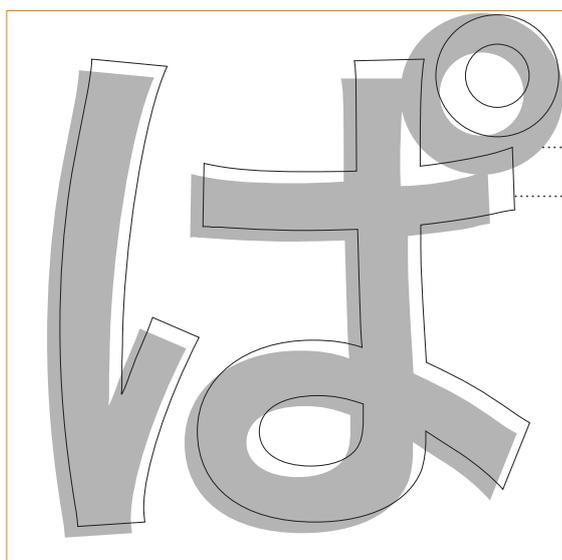
濁点・半濁点を持つ平仮名・片仮名（へがぎくげびざじずぜぞだちづでとばびぶべぼばびぶべぼヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅドバビブベボパピペポ）以外は「ヒラギノ角ゴシック体」と同じ字形です。

グリフセットの詳細内容は、[X31-X33: 頁掲載の「OpenTypeグリフセット一覧表」](#)—仮名フォント—をご覧ください。



ヒラギノ角ゴパッケージ用仮名 Std W6

ヒラギノ角 Pro W6



ヒラギノ角ゴパッケージ用仮名 Std W6

ヒラギノ角 Pro W6

